

水稻生育速報

令和5年7月25日
長岡農業普及指導センター

葉色が急激に低下しています 直ちに、穂肥を施用しましょう！

コシヒカリ定点調査ほの生育状況（7月25日現在、管内7か所平均）

葉色：29.8 (SPAD)（指標値差 -3.0 = 薄い）

- 1回目穂肥を施用していても、葉色が薄い。
- 前回調査より、急激に褪色している（前回調査(7/20)に比べて-2.5）。
- コシヒカリの出穂期は平年より2～3日早いと予想される。

【今後の気象見通し】（7/20 新潟地方気象台発表：7/22～8/21）

1か月予報では、暖かい空気に覆われるため向こう1か月の気温は全期間で高く、降水量・日照時間は平年並の見込みとなっている。

今後の管理

1 高温気象に対応した穂肥

- (1) コシヒカリの2回目の穂肥は、出穂後の栄養状態を維持するため必ず施用する。
- (2) 現段階でコシヒカリの葉色は分施、全量基肥体系ともに多くのほ場で SPAD 値で 30 を下回っているため、下表を参考に追加の穂肥を施用する。

【追加の穂肥のめやす】

	栽培体系	判断時期 葉色のめやす	施肥時期 施肥量	用いる 肥料
分施	一般栽培 (化学肥料体系)	出穂期3日前の葉色 SPAD 値 31 以下のとき	出穂期3日前 窒素成分 1 kg/10 a 以下	化成
	特別栽培 (減化学肥料栽培)	出穂期6日前の葉色 SPAD 値 33 以下のとき	出穂期6～3日前 窒素成分 1 kg/10 a 以下	有機 100%
全量 基肥	特別栽培 (減化学肥料栽培)	出穂期10日前頃の葉色 SPAD 値 30 以下のとき	出穂期10～5日前頃 窒素成分 2 kg/10 a 以下	有機 100%

2 こまめな水管理を実施

出穂・開花期はイネが最も水を必要とする時期のため、飽水管理の徹底を図る。

3 穂いもち防除とカメムシ防除を徹底

- (1) 葉いもちの発生が多いため、いもち病に弱い品種や多肥栽培のほ場では、穂いもち防除を「出穂直前」及び「穂揃い期」の2回実施する。
- (2) 斑点米カメムシ類の防除は、品種ごとに出穂期を応じて、適期に防除を実施する。

- 農作業事故に注意しましょう。特に草刈り作業は周囲に気を配ってください。
- 農作業時の熱中症に注意をしましょう。こまめな休憩と水分補給が大切です。

定点調査ほ場生育調査結果(令和5年7月25日現在)

指標値は5月10日移植を想定

品種	地点名	移植日	(参考) 前年 移植日	葉色			
				本年 (SPAD)	前年差	指標差	7/20 との差
コシ ヒカリ	長岡市乙吉町	5/12	5/11	29.4	▲ 3.5	▲ 2.6	▲ 1.9
	長岡市菅畑 (栃尾地域)	5/13	5/18	30.0	▲ 1.2	▲ 2.0	▲ 1.1
	長岡市小国町二本柳 (小国地域)	5/13	5/12	30.5	0.3	▲ 2.5	▲ 1.6
	長岡市岩田 (越路地域)	5/9	5/9	29.4	▲ 0.2	▲ 4.1	▲ 3.8
	長岡市寺泊夏戸 (寺泊地域)	5/13	5/9	32.5	1.6	▲ 1.0	▲ 0.5
	長岡市中条北 (中之島地域)	5/4	5/3	27.9	▲ 1.0	▲ 4.6	▲ 2.5
	小千谷市鴻巣	5/16	5/12	29.2	▲ 2.8	▲ 4.3	▲ 6.1
	平均	5/11	5/10	29.8	▲ 1.0	▲ 3.0	▲ 2.5
	※平場コシ平均	5/9	5/8	29.8	▲ 0.8	▲ 3.1	▲ 2.2
	※中山間コシ平均	5/14	5/14	29.9	▲ 1.2	▲ 2.9	▲ 2.9

※ 平場コシ : 長岡市乙吉・岩田・寺泊夏戸・中条北の4か所(それ以外を中山間コシに分類)